

3 平均在院日数

(1) 病床の種類別にみた平均在院日数

病院の平均在院日数は29.9日で、前年に比べ0.7日短くなっている。

病床の種類別にみると、「精神病床」は281.2日で前年に比べ3.5日短く、「療養病床」は164.6日で前年に比べ3.7日短くなっている。「一般病床」は16.8日で前年に比べ0.4日短くなっている。また、「介護療養病床」は315.5日で、前年に比べ6.9日長くなっている。

また、療養病床を有する診療所の「療養病床」は101.9日で、「介護療養病床」は102.3日となっている。（表4、図5）

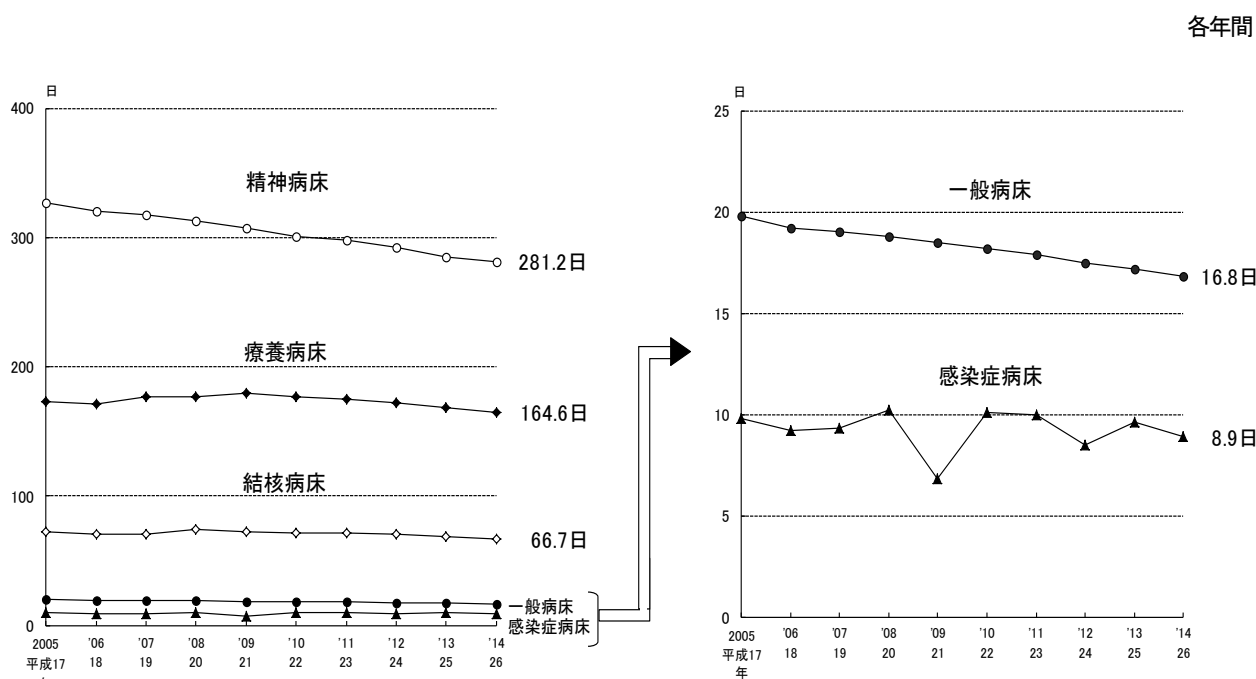
（参考）統計表14 人口10万対1日平均患者数・病床の種類別にみた病床利用率・平均在院日数の年次推移

表4 病床の種類別にみた平均在院日数

	平均在院日数 ¹⁾		対前年 増減数
	平成26年 (2014)	平成25年 (2013)	
病院			
全病床	29.9	30.6	△ 0.7
精神病床	281.2	284.7	△ 3.5
感染症病床	8.9	9.6	△ 0.7
結核病床	66.7	68.8	△ 2.1
療養病床	164.6	168.3	△ 3.7
一般病床	16.8	17.2	△ 0.4
介護療養病床	315.5	308.6	6.9
介護療養病床を除く全病床	28.6	29.2	△ 0.6
療養病床を有する診療所			
療養病床	101.9	105.4	△ 3.5
介護療養病床	102.3	108.1	△ 5.8

注：1) 平均在院日数の計算式は5頁を参照。

図5 病院の病床の種類別にみた平均在院日数の年次推移



注：東日本大震災の影響により、平成23年3月分の報告において、病院の合計11施設（岩手県気仙医療圏1施設、岩手県宮古医療圏1施設、宮城県石巻医療圏2施設、宮城県気仙沼医療圏2施設、福島県相双医療圏5施設）は、報告のあった患者数のみ集計した。

(2) 病院の都道府県別にみた平均在院日数

病院の平均在院日数を都道府県別にみると、「全病床」は高知県(48.8日)が最も長く、神奈川県(23.0日)が最も短くなっている。「精神病床」は山口県(405.2日)が最も長く、東京都(198.9日)が最も短くなっており、「療養病床」は富山県(245.4日)が最も長く、鳥取県(97.1日)が最も短くなっている。「一般病床」では高知県(22.0日)が最も長く、神奈川県(14.1日)が最も短くなっている。また、「介護療養病床」は秋田県(532.1日)が最も長く、山形県(34.8日)が最も短くなっている。

(表5、図6)

(参考) 統計表 16 都道府県—指定都市・特別区・中核市(再掲)別にみた病床利用率及び平均在院日数

表5 病院の平均在院日数

(単位:日)

平成26(2014)年 年間

	全病床		精神病床		療養病床		一般病床		介護療養病床	
全国	29.9		281.2		164.6		16.8		315.5	
長い県	高 知	48.8	山 口	405.2	富 山	245.4	高 知	22.0	秋 田	532.1
	鹿 児 島	44.7	徳 島	400.2	北 海 道	233.3	熊 本	20.5	山 口	479.8
	佐 賀	44.2	大 分	400.1	神 奈 川	202.0	鹿 児 島	20.2	北 海 道	455.2
	山 口	43.4	鹿 児 島	380.8	京 都	199.0	佐 賀	20.1	高 知	440.5
	熊 本	42.1	栃 木	369.7	山 口	197.1	和 歌 山	19.9	青 森	438.5
∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	
短い県	岐 阜	25.3	岡 山	236.5	長 野	116.0	長 野	15.5	長 野	135.4
	愛 知	25.1	青 森	235.2	山 形	114.0	静 岡	15.5	岐 阜	130.7
	長 野	24.6	福 井	234.5	長 崎	111.6	愛 知	14.7	宮 城	113.6
	東 京	23.1	神 奈 川	234.1	宮 城	108.1	東 京	14.5	鳥 取	68.9
	神 奈 川	23.0	東 京	198.9	鳥 取	97.1	神 奈 川	14.1	山 形	34.8
(最長—最短)	25.8		206.3		148.3		7.9		497.3	

注: 1) 平均在院日数の計算式は5頁を参照。

2) 小数点第1位の数値は、小数点第2位を四捨五入して表示している。

図6 病院の都道府県別にみた平均在院日数

平成26(2014)年 年間

